

OKK 健康経営の推進

OKK健康宣言

「従業員ひとりひとりの健康が、創造の原動力となる」

OKK株式会社は、従業員ひとりひとりが心身ともに健康で、生き活きと働けることが、生産性の向上・技術の革新を生み、会社の健全な成長を支えるという考えの下、従業員ひとりひとりが持つ能力を最大限に発揮し、心豊かにはつらつと働くことができるよう、安心・安全な環境整備を行い、従業員の健康保持・増進に組織一丸となって取り組むことを宣言します。

OKK株式会社
代表取締役社長 浜辺 義男

1. 【基本的な考え方】

心身ともに健康であることは、生き活きと働くための源であり、OKK で働く全ての人とその家族の幸せ、会社の発展に欠かせないものであることから、OKK では従業員の健康増進（こころからだの健康に配慮し、支援すること）を経営課題の一つと位置づけ、社長による健康宣言を発表しました。

この健康宣言を受け、OKK では健康経営を統括する責任者を任命し、健保等保険者や労働安全衛生と連携・協議・方針を定めて社内に普及していく組織体制を構築し、健康増進に向けた従業員の意識向上、職場での活動・取り組みを推進していきます。

2. 【3つの健康への対応】（図1参照）

従業員一人ひとりが“心身ともに健康で、毎日元気に生き活きと働き、個性や能力を発揮する”には、働き方を大きく見直し、ワークライフバランス（公私の充実）を図ることが重要であり、健康と働き方は相互に作用するため、働き方改革と合わせて次の3つを中心に健康経営を推進していく。

(1) <からだの健康> 一人ひとりの健康管理能力の向上

家族を含め、一人ひとりが健康意識（ヘルスリテラシー）を高め、病気の予防や治療に向けて自律して適切な健康行動（食事、運動習慣、禁煙などの生活習慣改善）がとれるよう、健康保険組合と連携して、意識啓発のための情報提供や機会づくりを行い、支援していく。

(2) <こころの健康> 快適な職場風土の醸成

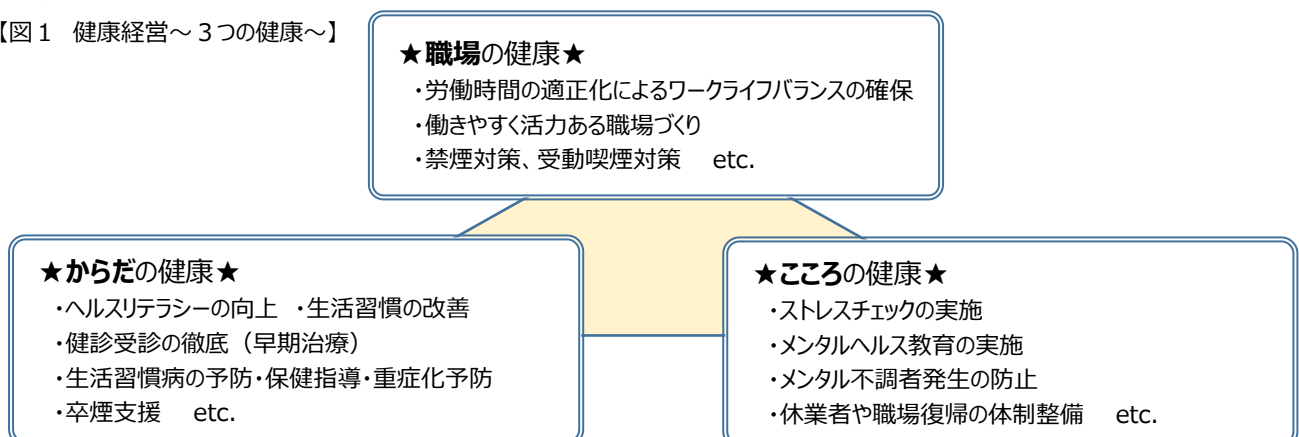
OKK で働く全ての従業員が働きやすく多様な人材が個性や能力を発揮できるよう、職場マネジメントを通じてコミュニケーションの活性化を図り、ともに働く仲間を気遣うことのできる職場風土醸成に努める。

(3) <職場の健康> より働きやすい職場環境整備

一人ひとりが快適に安心して働けるよう、安全配慮の徹底と職場環境の改善に取り組み、社内啓発・安全衛生教育を通して、従業員・職場の主体性・自律性の醸成に努める。

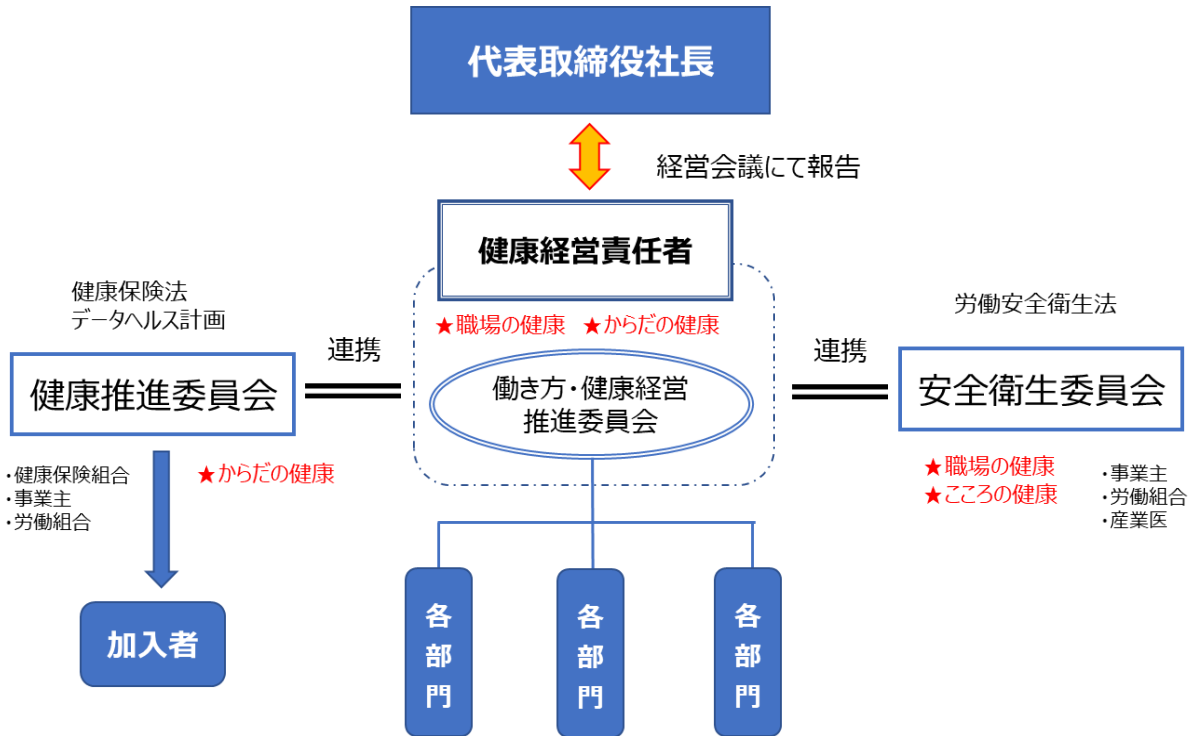
また、労働時間の適正化、働き方の見直しによりワークライフバランスを確保し、働きやすく活力ある職場づくりを推進していく。

【図1 健康経営～3つの健康～】



3. 【推進体制】

健康経営責任者を任命し、健康経営責任者を委員長とする「働き方・健康経営推進委員会」を組織し、職場の安全衛生活動を推進する「安全衛生推進委員会」と健康保険組合の設置する「健康管理事業推進委員会」と連携して、全社的に健康施策を推進していく。



(1)構成と任期

働き方・健康経営推進委員会は、人事課内に事務局を設置し、事務局メンバーと各職場の健康増進活動を推進する「健康推進メンバー」で構成する。推進メンバーは任命制とし、その任期は2年とする。

(2)推進メンバーの選出

推進メンバーは、各部門長と各職場から女性・若手を中心に、部門内を横断的に管轄する必要がある場合は、各所属を取り纏め、指示することができる課長、BL長を選任する。

(3)委員会開催

委員会は2ヶ月に1回、定期的で開催する。

ただし、緊急に対応が必要な事案が発生した場合は臨時に委員会を開催するものとする。

4. 【推進メンバーの役割】

推進メンバーは、安全衛生委員会や健康保険組合の設置する健康管理事業推進委員会で決定された施策を職場へ浸透させることに協力するとともに、「働き方・健康経営推進委員会」で各職場の健康課題の把握と対策の検討・対策の実施や効果検証を行い、従業員の健康・働き方に対する意識向上とチームワークの醸成、職場の活性化を図っていくリーダーとして活動することをその役割とする。

以上